恵田小新聞

令和元年
10月
第153号

恵田小にきて

石川　寛政

朝晩はだいぶ涼しく感じられ、過ごしやすい季節となりました。私が恵田小学校に赴任して、早いものでもう半年が過ぎようとしています。

教員一年目の私にとって、恵田小学校は初めての学校です。最初は、慣れない環境に少し不安な気持ちがありました。しかし、この半年間の様々な経験や出会いを通してどんどん恵田小学校のことが好きなっています。全校児童が四十九人ということもあり、学年を超えて仲のいい恵田小。自然が豊かで季節の変化がたくさん感じられる恵田小。みんな元気いっぱいで、明るい声が廊下に響き渡る恵田小。こんな素晴らしい学校で教員生活をスタートできて本当によかったなと日々感じています。これから学芸会や落ち葉スキー、収穫感謝祭などの行事で恵田っ子の輝く姿が見られるのも今からとても楽しみです。これからも、元気な恵田っ子たちと明るく、全力でがんばっていきたいと思います。

ぶどう初狩り（9月12日）

「おいしかったぶどう」

一年　おの　りょうた

しょうがっこうのぜんこうじどうでぶどうがりをしました。ぼくはたかいところのぶどうをおにいさんにてつだってもらってきりました。つかれたけど、おいしかったです。らいねんもたのしみです。

「初狩りを終えて」

六年　南　紗織

一年生のぶどう狩りのお手伝いをしていたら「おいしい」という声がたくさん聞こえてきたので、とてもうれしかったです。今年はサルにいっぱいやられたけど、おいしいぶどうが実ってよかったです。

「ブドウ初狩り」

保護者　大橋　訓子

毎年、持ち帰ってくるブドウ。今年は、今までで一番粒も大きくて甘くおいしかったです。六年の発表もよく調べてあり初耳のことばかり。会を進行する姿を見て、六年らしく成長したなあと感心した日でした。

稲刈り（9月18日）

「いねかり」

四年　春日　涼太郎

九月十八日にぼくたちは、小雨がふる中いねかりをしました。今年も地いきの方々のおかげで、たくさんの大きなほがみのりました。しゅうかく感しゃさいで食べるおもちがとても楽しみです。

「たいへんだった稲刈り」

五年　後藤　弥生

稲の刈り方やしばる方法を教えてもらいました。かんたんそうに見えましたが、いざやってみると、思った以上にくきが立派で、かたくて切りにくかったです。稲刈りのたいへんさがわかりました。

「黄金に輝く稲穂と笑顔」

保護者　小原　泉

あいにくの天気でしたが、恵田っ子の見よう見まねで鎌を入れたら、ザクっとしてとても気持ちよかったです。多くの人たちの協力で毎年受け継がれるこの稲刈りが恵田学区の良いところがぎゅっと詰まって素敵だなと思いました。

「雨にも負けず」

保護者　鈴木　理江

雨が降る中、稲刈りは行われました。そんな雨にも負けず子供たちも頑張ってくれて、地域の方々の協力もあり全て刈ることができました。収穫感謝祭でおいしいお餅になるのが楽しみです。